平成14年2月 広報 Vol. 575

# さめがわ

2

February 2002



# どうする 市町村合併

## 村の将来を左右する重要な決断 合併は果たして必要なのか？

国は、地方分権一括法の成立や
市町村合併特例法の改正により
「平成の大合併」に乗り出した。
その背景には、国や地方自治体の
深刻な財政危機があり、
行政体制の見直しや財政の建て直しを
図ることを目的としている。
そして、平成17年３月を期限とする
財政支援策を打ち出し、
市町村合併を積極的に推進している。
鮫川村にとって、合併は果たして必要なのか。
村の将来を左右する重大な問題としてとらえ、
さまざまな議論を重ねながら、
最善の決断を下さなければならない。
今月は、市町村合併を考える第一段階として、
国の基本的な考え方を紹介する。



次世代に向けて村の将来を真剣に考えなければならない（写真は鮫川幼稚園の子どもたち）

# 国が推進する市町村合併

## 今、なぜ合併を進めているのか

国は今、なぜ市町村合併を推進しているのだろうか。

総務省発行のパンフレットおよび福島県広域行政推進指針を基に、その概要を紹介する。

■**地方分権の進展**

市町村が国の指示や命令を待たずに、自らの責任と判断で行政の施策・サービスの内容を決定し実施していく、いわゆる地方分権が現実の歩みを始めている。つまり、総合的に住民サービスの提供の責任を負う市町村には、地域の特性を十分生かした個性豊かで活力に満ちたまちづくりを実現していくことが期待される。

■**生活圏の広域化への対応**

交通基盤の整備、情報・通信手段の発達などにより、通勤・買い物・医療など、住民の日常生活圏は市町村の区域を越えて拡大している。これに伴い、行政サービスも可能な限り広域的に対応する必要があり、より広い観点から一体的なまちづくりを進めることが求められる。

■**多様化する住民ニーズへの対応**

住民の価値観の多様化、技術革新の進展などに伴い、住民が求めるサービスも

### 市町村合併までの主な手続き

**市町村の動きがきっかけになる場合**

**事前協議**

- 合併の検討をする話し合い
- 合併研究会や任意の合併協議会といった組織が作られる場合が多い。

**住民の動きがきっかけになる場合**

**住民発議**

- 法定合併協議会の設置を住民が市町村長に対して請求
- 市町村の有権者の1／50以上の署名が必要

↓ 法定合併協議会に係る各市町村議会の議決

**法定合併協議会の設置**

- 合併を行うこと自体の是非を含めて、合併についてあらゆる事項を正式に話し合う場所（必ずしも合併を前提としたものではない）

↓ 知事へ設置の届出

**市町村建設計画の作成**

- 合併後の将来図とその実現方法を市町村建設計画にまとめる。
- 市町村建設計画について知事との協議を行い、知事と総務大臣に送付する。

↓ 市町村合併に係る各市町村議会の議決

**知事への申請**

- 関係市町村長すべてから申請

↓ 県議会の議決

**知事の決定**

- 知事が市町村合併を正式に決定
- 市を編入する合併、新たに市を設置する合併の場合には、総務大臣の同意が必要

↓ 総務大臣への届出

**総務大臣の告示**

- 総務大臣の告示によって合併の効力が発生し、新市町村が誕生

### そもそも「合併」とは何なのか

市町村合併とは、2つ以上の市町村が1つになるもので、合併には2つの形態がある。まず1つ目は「新設合併」といい、2つ以上の市町村が一緒になって新しい市や町や村をつくるという形である。もう1つは「編入合併」といい、ある市町村の区域の全部または一部を他の市町村に編入するという形で、かつては吸収合併とも呼ばれていた。

最近では、埼玉県の浦和・大宮・与野の3市が新設合併して「さいたま市」が誕生。また、新潟県の黒崎町が新潟市に編入合併している。



**広域行政講座を開催**

村では１月24・25日の両日、村公民館で議会議員、行政区長、各種委員、村職員らを対象に「広域行政講座」を開催。県市町村課職員を講師に、市町村合併についての国の方針、合併までの流れ・効果・懸念事項などについて学んだ。

多様化・高度化している。これに対応するため、専門的な知識・技能を備えた職員を育成・確保し、行政需要に的確かつ効率的に対応することが求められる。

**■少子・高齢化への対応**

今後、各地域で少子・高齢化がさらに進み、高齢者への福祉サービスがますます大きな課題となってくる。人口構成の変化により税収の減少も予想される中、市町村には住民負担の増加を抑制しながら行政サービスを維持・向上させるための取り組みが求められる。

**■厳しい財政状況**

国と地方を合わせた借金（長期債務残高）は、平成十三年度末までで六百六十六兆円に達し、そのうち地方の借金は百八十八兆円を超える見込みである。さらに今後、地方交付税（国から市町村へ配分されるお金）の減額や人口減少による税収の伸び悩みなども見込まれ、市町村が現在の行政サービスの水準を将来にわたって維持していくためには、行政の簡素・効率化を図りながら、行財政基盤を強化することが求められる。

## 期待される効果（メリット）

地方分権、少子・高齢化、財政悪化などによって、より的確な対応が求められる市町村行政。国では、市町村合併によって次のような効果（メリット）が期待できるという見解を示している。

**■行政サービスの維持・向上**

①さまざまな分野に専任の職員や組織の設置ができ、多様化する行政需要に対応することが可能になる。

②市町村の境界がなくなることにより、
・合併前の他市町村の公共施設の利用が可能になる。
・住民票交付などの窓口サービスの居住地以外での利用が可能になる。
・同種の公共施設の重複建設が回避され、より大規模な施設の建設が可能になる。

③中核市への移行や市制施行に伴い、国や県からの権限移譲や福祉事務所などの設置により自主的な事業展開が可能になるとともに、住民に身近な事務が早く処理されるようになり、住民の利便性が向上する。

**■広域的な視点に立った地域振興の推進**

市町村の区域が拡大することにより、
・道路の連結が旧市町村間でも円滑に行われるようになり、機能的な道路網の整備が図られる。
・広域的な視点に立った、地域の個性を生かしたまちづくりをより効果的に行えるようになる。
・環境問題、廃棄物対策、災害対策など、広域的な取り組みを必要とする課題に対し、より効果的・効率的な施策を展

## 用語の説明

**※注１　合併協議会**
合併後の市町村建設計画の作成など、合併に関する協議を行うために設置する協議会で、関係市町村の長、議会議員などで構成（学識経験者を加えることができる）。

**※注２　市町村建設計画**
合併後の市町村振興の基本方針、根幹となるべき事業、公共的施設の統合整備、財政計画など、合併後の市町村の将来に向けての基本的な事項を定める計画。

**※注３　地域審議会**
合併後も地域住民の声を施策に反映させ、きめ細かな行政サービスを実現するために、合併前の市町村の協議により、合併前の市町村の区域を単位として期間を定めて設置する審議会。合併後の市町村長の諮問に応じて審議したり、意見を述べたりする。

**※注４　不均一課税**
合併する市町村の地方税の賦課や財産の価格、負債の額に著しい差がある場合に、合併した年度およびこれに続く３カ年度に限り、不均一の課税をすることができる。

開できる。

**■行政の効率化、行財政基盤の充実**

重複する管理部門（住民向けの行政サービスを直接行わない人事、財政、企画などの部門）や各種委員会、その事務局の効率化が図られる。そして、それにより生み出された経費や人材を住民に直結する行政サービス部門や事業実施部門に充てることができるので、経費や職員数を増加させることなく、行政サービスの充実とともに行財政の充実強化を図ることができる。

## 懸念事項（デメリット）とその対応策

市町村合併に対して、市町村や地域住民はさまざまな問題を懸念するが、国ではその対応策を次のように示している。また、これらの問題については、合併協議会（注1）でメリットを最大にし、デメリットを最小のものとするよう、事前に十分な解決方法、対応策を検討することが必要であるとしている。

**■役場が遠くなり不便にならないか。**

旧役場を支所として残すことや、情報通信技術を活用することなどにより解決可能。

**■中心部だけが整備され、周辺地域の振興が遅れないか。**

周辺部に配慮した市町村建設計画（注2）を策定し、その達成状況については地域審議会（注3）によって定期的に確認したり、新たな施策について地域審議会の意見を反映させるなどの方法によりバランスのとれたまちづくりが可能。

**■住民の声が届きにくくなったり、きめ細やかなサービスができなくなったりしないか。**

広報広聴制度や住民参加などの活用、直接住民サービスに携わる職員の確保・資質の向上により、きめ細やかなサービスを維持していくことが可能。

**■地域の歴史や文化、伝統などが失われないか。**

地域名は残し、合併によって削減された経費を地域文化振興に振り向けることが可能。

**■市町村の財政状況に差があるため、合併すると不利にならないか。**

交付税措置などの財政措置や合併前の市町村の状況に応じて認められる不均一課税（注4）を活用するなどにより、緩やかに財政状況の格差の調整を行うことが可能。

**■福祉などのサービス水準が切り下げられないか。**

合併する市町村にサービスの水準に違いがある場合には、合併協議会で事前の調整を行う必要がある。一般にはサービス水準は高い方に、負担は低い方に調整されている。

## 三町村合併研究会を設立

合併特例法による国の財政支援などが受けられる期限が平成17年3月（人口3万人以上で市になれる期限は平成16年3月）に迫っていることから、合併の是非、効果、問題点について早急に検討する必要がある。このことから、「市町村合併をしない矢祭町宣言」を決議した矢祭町を除く鮫川村、棚倉町、塙町の東白川3町村では、昨年12月に町村長と議会議長による協議を行い、合併することの是非を含めて本格的に協議・研究する場を設けることで意見が一致した。

さらに、今年1月17日開催の2回目の協議では、各町村長と助役、町村議会正副議長、学識経験者で構成する「東白川地方三町村合併研究会」の設立を決めた。

研究会では今後、合併に関する調査・研究を進めるほか、法定合併協議会（合併の是非を含めて正式に協議する組織で、設置には議会の議決が必要）の設立のためのスケジュールや規約の検討、住民への情報提供を行っていく。

**※合併特例法（市町村の合併の特例に関する法律）とは…**合併することによって財政面などの優遇措置を設けた法律で、昭和40年4月に施行され、10年ごとに見直しが行われてきた。平成17年3月を期限とした現在の法律では、平成16年3月31日までに合併すると人口3万人以上で、17年3月31日までの合併では4万人以上で「市」になることができると定められている（地方自治法では、町村単独で市になるためには人口5万人以上と規定）。

◆◆◆◆◆

## 村の将来を決めるのは私たち一人ひとり

今月は、市町村合併に関する国の考え方を紹介した。しかし、国が示す市町村合併による効果は、必ずしも鮫川村にあてはまるとは限らない。市町村の適正規模という観点から、人口規模の拡大、行政の広域化は、すべてプラス要素にはなり得ないという指摘もある。

合併は、鮫川村にとって本当に必要なのか。これまで積み上げてきた鮫川村の「むらづくり」を後退させないように、真剣に議論しなければならない。まずは、地域づくりを基本として、原点に帰って自分の足元を見つめ直す必要がある。

地域行政の在り方は地域で決定するという地方自治の本旨からも、合併は国からの押し付けではないし、そうであってはならない。地域住民の自主的な判断を十分に反映させるため、私たち一人ひとりが議論を起こし、この村の将来を自らの責任で決めるという意思が必要なのだ。


表彰状を受ける芳賀村長

# 交通死亡事故ゼロ2000日達成

## 県内で5番目の記録

本村は、一月十一日をもって交通死亡事故ゼロ二千日を達成し、一月十六日、福島県交通対策協議会長表彰の伝達式が村公民館で行われました。

村内の交通安全団体関係者、来賓など約百人が出席。交通事故犠牲者に黙とうをささげたあと、県南地方交通対策協議会長の角田豊彦県南地方振興局長から村交通対策協議会長の芳賀村長に表彰状が伝達されました。

芳賀村長が「これを契機に交通安全思想の周知徹底を図り、交通死亡事故ゼロ三千日を達成したい」とあいさつ。角田振興局長、藤田村議会議長らが祝辞を述べました。

続いて、森正紀交通安全協会鮫川支部長が「交通事故のない住みよい村宣言」を読み上げ、交通事故根絶に向けてまい進することを誓い合いました。

なお、交通死亡事故ゼロの継続日数は、現時点で滝根町、檜枝岐村、白沢村、山都町に次いで県内五番目の記録となっています。


交通事故のない住みよい村宣言を読み上げる森支部長

# 新会長に岡部敬美さん（前沼出身）

## 第16回東京鮫川会総会

第十六回東京鮫川会総会は一月二十七日、東京都新宿区の住友ビルで開かれました。

会員、ふる里関係者など約八十人が出席。今総会では、任期満了による役員改選が行われ、新しい会長に岡部敬美さんが選任されました。総会終了後、恒例の新年会が行われ、ふるさと談義に花を咲かせていました。

新役員は次のとおりです。

**会長**…岡部敬美（東京都練馬区・富田字前沼出身）**副会長**…森満（東京都杉並区・赤坂東野字楢久保出身）**副会長**…茨木勇（東京都大田区・西山字大沢出身）**監事**…関根貞夫（神奈川県川崎市・西山字西野内出身）**監事**…中井邦雄（東京都足立区・赤坂東野字広畑出身）


ふるさと談義に花を咲かせる出席者

# 役場庁舎新築工事が始まりました

役場庁舎新築工事の安全祈願祭が一月三十日、建設地（役場分庁舎跡地）で行われました。

村、村議会議員、区長、工事関係者など約五十人が出席。神事で芳賀村長、工事施行業者らがくわ入れをし、玉ぐしをささげて工事中の安全と早期完成を祈願しました。

新しい庁舎は鉄骨造り二階建てで、延べ床面積は千三百二十四・二三平方メートル。既存の農業技術指導センターと一体的な庁舎とし、本体工事は今年七月末を工期として進めます。


くわ入れを行う芳賀村長

**■村民に親しまれる庁舎に**

新庁舎は、村づくりの基本理念である「住んでみたいむら・住みつづけたいむらの創造」を目指す本村行政の拠点としての機能を十分に発揮するとともに、村民の皆様に親しまれる庁舎を基本方針として設計。多様化する住民のニーズに的確かつ効率的に対処すること、自然に溶け込み、親しみやすさを備えた庁舎となることを念頭に置き、

①円滑な住民サービスを促す空間づくり
②地域コミュニティを育む場づくり
③村民の誇りとなる格調高い庁舎
④周辺景観・自然景観と調和した外観デザイン

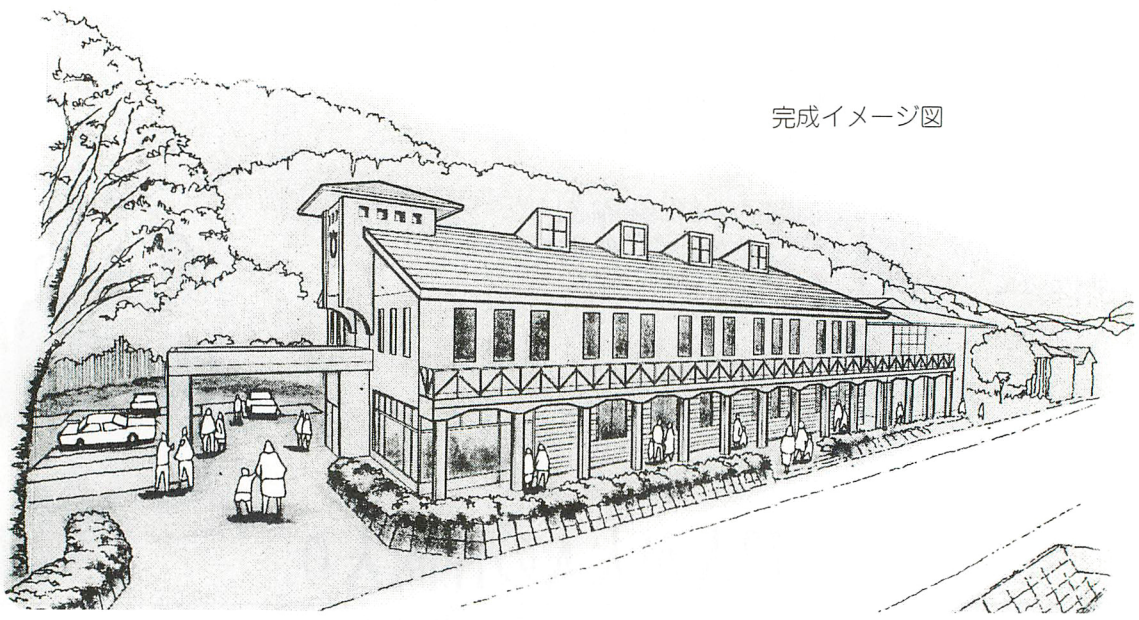
以上の四つの事項を中心に計画し、世代を超えた憩いの場となる村民ホールのほか、高齢者や障害者への対応としてスロープ・エレベーター・専用トイレなどを設け、より利用しやすい庁舎となります。

**■工事中の来庁者駐車場**

工事期間中、役場入り口が狭くなり、ご不便をおかけします。また、本庁舎および農業技術指導センターへ来庁の際は、村公民館駐車場または役場北側空き地（商工会側、消防ポンプ置場跡地）に駐車されますよう、ご協力をお願いします。

■

**■問い合わせ**　村総務課総務係
☎内線２１１


完成イメージ図

Congratulations!




第54回鮫川村成人式は１月13日、村公民館で開かれ、
男子28人、女子44人、合わせて72人が大人の仲間入りをしました。
式では、新成人を代表して湯坐香織さん(赤坂中野字二本田)に成人証書、
鷺野谷輝さん(富田字中沢)に記念品が芳賀村長から手渡されました。
芳賀村長の式辞、藤田村議会議長ら来賓の祝辞に続き、
菅野貴生さん（渡瀬字青生野）が誓いの言葉を述べ、
三瓶ゆかりさん（赤坂東野字葉貫）が感想文を発表。
大人としての自覚を新たにしました。
また、出席者全員による記念撮影のあと祝宴が催され、
久し振りの友達との再会を喜び合ったり、思い出話に花が咲き、
華やかな成人式となりました。



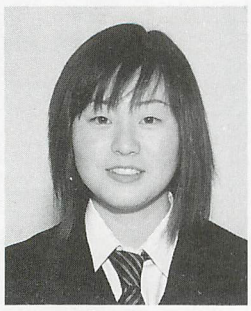
## 72人が大人の仲間入り

1／13　第54回鮫川村成人式

第6回青少年主張大会最優秀賞受賞作品

# 生徒会活動を通して

水野　綾子さん



〈みずの・あやこ〉
棚倉高等学校３年
赤坂中野字伏木田在住

早いもので、もう高校生活も終わりに近づいています。私は生徒会活動を通して、一生懸命やれば失敗しても後悔はしないということや友達のすばらしさを知ることができました。

私は中学校のころも生徒会に入って活動していました。いろいろな行事を成功させたときの達成感が好きでした。しかし、人前で話すことが苦手なので、中学時代はステージに立って説明などをするより裏方の作業をすることがほとんどでした。

高校１年の２学期に、先生から「生徒会役員に立候補してみないか」と誘いを受けました。中学校で経験しているとはいっても、不安な面が多々あり迷いました。両親や友達にも相談しました。私は高校に入学し、何か一つやりとげようと思っていたのですが、自分に役員を務められるかどうか不安で迷っていました。母に話すと「お前なら大丈夫だよ。やってみなきゃわからないでしょ」と言ってくれました。その一言で私はできるような気がして決心しました。

私は書記に立候補し当選しました。そして生徒会書記としての活動が始まりました。実際に活動してみると、中学校と高校の生徒会の仕事は全く違っていました。中学校の活動は、学校の先生方からある程度の形が出され、それを元に作り上げていく形態でした。しかし高校では、各行事ごとに目的・目標を設定し、活動内容を考え、案を作成します。形になった計画を先生方に見ていただき、チェックを受けます。生徒会主催の行事では、自分達で立案し成功に向けて活動しました。

３年生が卒業する時期が迫り、３年生を送る会を開くことになりました。成功させて３年生にとってよい思い出になる会にすることを目標にして案を出し合いました。昔のファイルをひき出し、どのようにやればよいのか、失敗したことはどんなことなのかを調べました。しかし、生徒会の中でも活発に行動・発言している人と全く活動せず「部活があるから」と来ない人もいました。そんなことが続き、活発に仕事をしている人にも疲れが見え始め、来ない人へ愚痴をこぼすようになりました。生徒会室は嫌な雰囲気に包まれ、やる人とやらない人が分裂して良い案が浮かばず、仕事がはかどらない最悪の状況でした。そんな私たちを見ていた生徒会担当の先生が、みんなの気持ちを聞き、話し合いの場を作ってくれました。その話し合いでは、お互い考えていることや、これからどうしていけば良いのかを言い合いました。それから意見をまとめ、約束事をつくりました。例えば、忙しくて仕事ができないときは、同じ学年の人に伝えること。少しでいいから顔を出すこと。このようなちょっとしたことから守っていこうということになりました。この話し合いの場をもったことで、イライラしていた気持ちや気まずい沈黙はなくなり、もう一度頑張ってみようと思いました。

そして、送る会の日程が近づいてきました。試行錯誤した結果、体育館のギャラリーから３年生の頭上にメッセージつきの風船を落とすことになりました。前日の夜遅くまで準備をし、とうとうその日を迎えました。音楽とともに３年生が入場してきました。そして開会の言葉から始まり、校長先生のお話が終わり、いよいよ風船を落とす時がきました。みんな成功してほしいという願いを込め、ひもにはさみを入れました。すると頭上に落ちるはずの風船が、３年生のいないわきの方へ落ちてしまいました。なんとか３年生に渡すことができましたが、予想とは違ってしまい大失敗に終わりました。

終わった後の私たちの口からは、反省の言葉が次々とこぼれました。私も「これじゃ、３年生に申し訳ない」と思い暗い気持ちになっていると、部活でお世話になった先輩から携帯にメールが届きました。その内容は「ありがとう。すごく楽しかった。最後にとっても良い思い出ができたよ。本当にありがとう、お疲れさまでした」というものでした。私はとてもとてもうれしくて、友達と泣きました。

今、３年間を思うと生徒会で活動できたことは自分にとって本当に良かったと思います。全校生の前で苦手な発表もしました。人とぶつかり合うことを避けていた自分に気づき、良いものをつくり達成するためには、意見をぶつけ合うことも必要であり、自分を理解してもらうには勇気のいることだということも知ることができました。生徒会の活動を通して、一つのことを成しとげたときのうれしさは、中学校のころにも増して大きいものでした。

私は卒業後、美容関係の仕事に就くことになっています。生徒会活動を通して学んだ一生懸命やることの大切さを忘れずに、お客様に喜んでもらえるよう接していきたいと思います。

# むらのできごと

広報にあなたの写真が載りましたら、さしあげますのでご連絡ください。（☎49－3111　内線214）





もちを「かつ食らう」参加者

## 無病息災と豊作を願う

小正月行事「かっくれい」

富田館山会（赤坂虎男会長）主催の小正月行事「かっくれい」は１月14日、彦次郎地内で行われ、無病息災と豊作を祈願しました。

地区の人たち約20人が参加。正月のしめ縄や松飾りを燃やして炭火をおこしたあと、各自持ち寄った正月のもちを竹ぐしに刺して焼き、田楽もちにして全員で味わいました。

参加者らは「今年も健康に過ごせそう」と話していました。

※かっくれい＝「かつ食らう」が語源だそうです。

## 新特産品「じゅうねんタレ」発売

村特産品開発事業組合

村特産品開発事業組合（湯坐好郎会長）では、地域おこしの一環として、「じゅうねんタレ」を十二月二十日から発売しています。

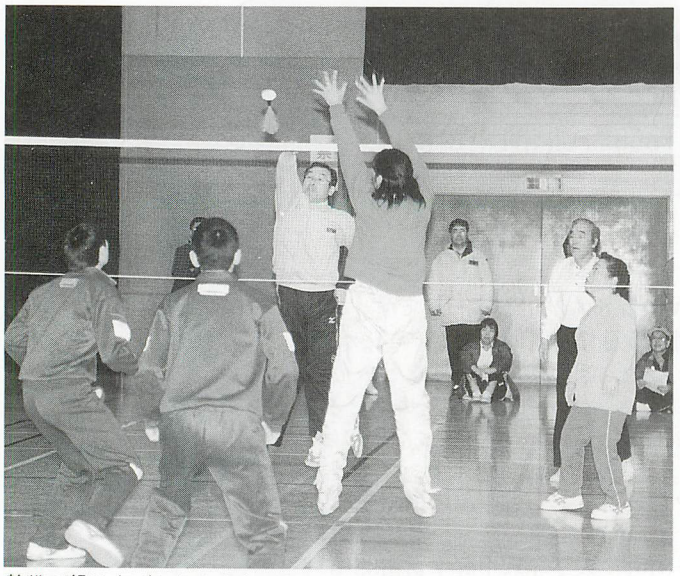
じゅうねん（エゴマ）は栄養価が高く、良質の油脂が含まれている健康食品として見直され、村内でも昔から作付けされてきました。

タレは、村加工倶楽部あらぐさの会（斎須信子会長）が「ふるさとの一品づくり」として開発を進め、商品化に成功。発売開始と同時に県内各地から注文が相次ぎ、これまでに千四百本の売り上げを記録するなど、村の新たな特産品として好評を博しています。

▼内容量…二百五十グラム▼価格…一本＝五百円、箱入り二本セット＝千百円▼問い合わせ…村特産品開発事業組合（村商工会内）☎49－2171



新たな特産品として好評の「じゅうねんタレ」


熱戦が繰り広げられた大会

## 男女混成はエ・ヌ(西山)が制覇

### 村親善インディアカ大会

村体育協会主催の第３回鮫川村親善インディアカ大会は１月27日、農業者トレーニングセンターで開かれ、熱戦が展開されました。

男女混成の部に20チーム、ファミリーの部に５チームが出場。スポーツを通して交流を深めました。

なお、男女混成の上位４チームは、２月17日に棚倉町で開催される郡大会に出場します。

▶**男女混成の部**＝①エ・ヌ（西山）②西山ヤンキース③西山ぼんぼこ③西野ヤング▶**ファミリーの部**＝①小さな森の塾②富田ガッテンダー③塩田・松本ファミリー③小嶋・坂本ファミリー

## 防火の誓い新たに

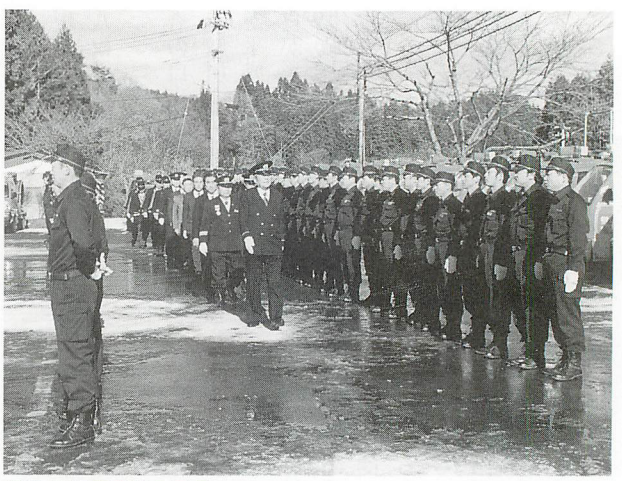
### 平成14年村消防団出初め式

平成十四年鮫川村消防団出初め式は一月四日、村公民館で行われ、防火の誓いを新たにしました。

式に先立ち、消防車両で村内を行進したあと、通常点検と水勢披露が行われました。

式では、無火災祈願の黙とうに続き、松本団長が式辞を述べ、芳賀村長があいさつ。無火災分団と優良団員に表彰状が贈られました。

▼**無火災分団表彰**＝第二分団（十一年三カ月）第三分団（九年十カ月）第四分団（六年四カ月）第六分団（四年十一カ月）第七分団（三年十カ月）▼**優良団員表彰**＝矢吹勝則、鏑木重正（第一分団）舟木一郎、高坂明（第二分団）関根宏康、関根浩治（第三分団）蛭田武、蛭田浩良（第四分団）三瓶高弘、芳賀博文（第五分団）松本正和、国島教光（第六分団）長井進（第七分団）

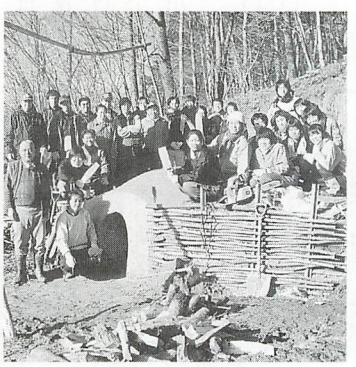

通常点検を受ける団員

村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす・村政とぴっくす



## 文化財火災防御訓練

１月27日、富田字反田地内の富田八幡神社で文化財火災防御訓練を実施。「神社の空き地でたき火中、強風にあおられ神社に延焼、火勢は付近の山林に延焼拡大中」との想定。参加した消防団員らは、きびきびとした動作で訓練に臨んでいました。



## 里山まるごと体験学校

ほっとはうす・さめがわ主催の「里山まるごと体験学校」は12月22・23日の両日、同施設近くで「炭がま」造りを行いました。首都圏の大学生約20人が参加し、地元の人たちが作業を指導。昔ながらの本格的な炭がまが完成しました。

# みんなのページ

PAGES FOR EVERYBODY

村民の皆さんが作るページです。
村づくりに関する意見、質問、提案(アイディア)
感激した話、ほほえましい話など……
ハガキや封書、ファックスでお寄せください。
ただし、中傷や営利を目的としたものは
ご遠慮ください。
「テーマにひとこと」も下記のあて先へ。

●

〒963-8401　大字赤坂中野字新宿39-5
鮫川村役場「広報さめがわ」みんなのページ行
☎49-3111（内線214）　FAX 49-2651

## お知らせ

### 皆さんのおかげです。「広報さめがわ」が5年連続の受賞

第四十七回福島県市町村広報コンクールの審査会は一月二十二日、県庁で開かれ、鮫川村が広報写真（組み写真）の部で最高賞の「特選」、広報紙の部（町村Ⅱ部）で「入選」、広報写真（一枚写真）の部で「佳作」に選ばれました。

組み写真は二年ぶり四度目、広報紙は五年連続八度目、一枚写真は五年連続五度目の受賞となりました。

受賞作品は、組み写真が平成十三年十一月号で掲載した「赤坂西野区ふるさと相撲大会」の八枚組み写真。広報紙が「地域（ここ）に、生きる。～知的障害者の自立を支える～」と題して「鮫川たんぽぽの家」を特集した平成十三年十一月号。一枚写真が平成十三年十月号の表紙に掲載した「敬老会――われらが主役」です。

なお、特選を受賞した組み写真は、四月に開催される「平成十三年全国広報コンクール」に福島県代表として出品される予定です。

このたびの受賞は、村民の皆様をはじめ、関係者のご支援、ご協力のたまものであり、紙上より厚く御礼申し上げます。

今後とも、皆様に親しまれる広報紙づくりに努めますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

## お便り

### 広報がきっかけで懐かしい方とのお付き合いができました

「頑張っている鮫川」に新年のお喜びを申し上げます。

村を離れて幾久しい私に広報をお届けいただき、懐かしさとうれしさと感謝の心でいっぱいです。いずれの機会に弟妹達と一緒に郵送代くらいはお届けしようと話がまとまりました。

広報の「セピア色の思い出」コーナーがきっかけとなり、五十五年ぶりに非常に懐かしい方とのお付き合いまでさせていただけるようになりました。

新聞・テレビ等に鮫川のことが出るたび、目・耳・心とも、そちらへとんで参ります。

人口が減っても貴村の発展を心より念じ、お礼を申し上げたくペンをとりました。ありがとうございました。　（匿名）

## 消防署からのお知らせ

**■春季全国火災予防運動・全国山火事予防運動**

「たしかめて。　火を消してから　次のこと」「火を消して　森を消さない　心がけ」

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎えるに当たり、3月1日（金）から7日（木）までの1週間、「春季全国火災予防運動」および「全国山火事予防運動」が実施されます。

この期間中の3月3日（日）、大字富田地内で、村、村消防団および消防署合同による火災防御訓練が実施されます。また、同日、村内全域の火防督励も行われます。

**■消火器の無料点検・老朽化消火器の回収**

消火器の破裂による人身事故を防止するため、一般住宅に設置されている消火器の無料点検および老朽化消火器の回収を次により実施します。

**無料点検**　3月4日（月）、鮫川分署で専門の業者が消火器を無料で点検します。

**回収**　3月1日（金）から7日（木）までの火災予防運動期間中、老朽化消火器を1本500円で回収します。

**棚倉消防署鮫川分署**
**☎49-2119**

# みんなの伝言板
MESSAGE BOARD

## 募集・案内

**■「まほろん ひな祭り」参加者募集**
**日時**…3月3日(日)10:00～12:00／**場所**…県文化財センター白河館「まほろん」／**対象**…小学生以上20人／**参加費**…200円／**応募方法**…往復ハガキに氏名・年齢・住所・電話番号を記入し、郵送してください。応募者多数の場合は抽選／**締め切り**…2月20日(水)（当日消印有効）／**◎応募先・詳細**…まほろん「ひな祭り」係、〒961-0835、白河市白坂字一里段86、☎0248-21-0700

**■アクアマリンふくしま企画展**
**鯨あらわる～よみがえる鯨文化～**
鯨類の進化・生態などのほか、人と鯨の歴史、日本各地に残る鯨の祭り、国際的な捕鯨に対する取り組みなどを紹介します／**期間**…5日27日(月)まで／**場所**…ふくしま海洋科学館「アクアマリンふくしま」**入館料**…一般1,600円、小～高校生 800円／**◎詳細**…アクアマリンふくしま☎0246-73-2525

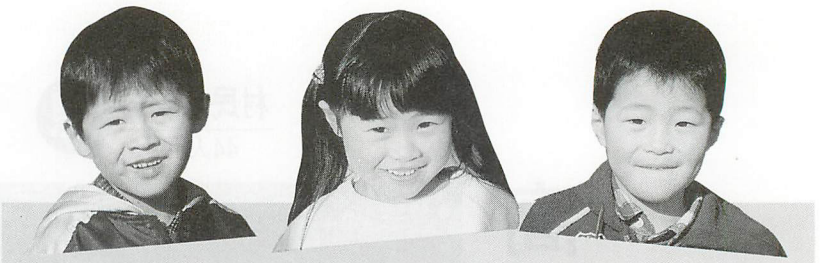
**■子供たちの(もの)と(心)の世界**
**キッズ・サイズ・デザイン展**
子供の視線から作られた近・現代の家具・遊具など、世界中から集められた約140点を展示／**期間**…2月9日(土)～3月31日(日)／**場所**…郡山市立美術館／**観覧料**…一般800円、高・大学生500円、小・中学生200円／**◎詳細**…郡山市立美術館☎024-956-2200

**■SUKAGAWAフライトアカデミー**
フライトシュミレータを使って、楽しみながら飛行機の操縦知識が身につく参加体験施設。「遊覧飛行」「アカデミーフライト」の2つのコースがあります／**◎詳細**…ふくしま科学振興協会「ムシテックワールド」☎0248-89-1120

## お願い

**■東北電力からのお願いです**
**愛犬をつないでおいてください**
電気使用量のメーター検針の際、飼い犬による咬傷事故が増加しています。首輪やくさりなどの点検も含めて、愛犬は確実につないでおいてください。また、つなぎ場所は玄関先やメーター器の下を避けてください／**◎詳細**…東北電力(株)白河営業所☎0248-23-3131

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集します。総務課総務係(広報担当)までご連絡ください。



スマイル・すまいる・スマイル・すまいる・スマイル・すまいる・スマイル

# テーマにひとこと

## 今月のテーマ／最近、気になること

▼最近、おなかのたるみが気になります。飲み過ぎ、食べ過ぎ、そして運動不足…。不健康な生活の積み重ねが、体に表れたのでしょうか。肥満は万病の元と言われています。気をつけなければ…。　（匿名）

＊

▼仕事がないこと――失業者。就職難。一生懸命働いて家族を養わなければならない世代。高校・大学と勉学に励み、自分の夢に向かって頑張ってきた子供たち。行き場がない。それは、犯罪が増える現象につながってはいないだろうか。いつ、明るい見通しがつくのだろう。いつ、生きがいを持って働ける職場が見つかるのだろう。国や県の公務員はなぜ、天下り制度なんてあるんだろう。退職金と年金で十分生きられるはずなのに。平民に職を与えてくれ～。　（PN. まよえるオオカミ）

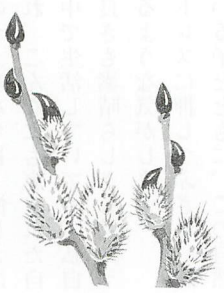
＊

▼最近というより、以前から思っているが、マナーの悪さが非常に気になる。どうしてゴミを道端に捨てるのか。空き缶、弁当の空き箱、ペットボトル…。大人が捨てたと思われるゴミを子供たちが奉仕作業として拾う。こんな社会で環境数育は成り立つのか。　（匿名）

＊

▼昨年の狂牛病問題の発生などにより、牛の取引価格が低落している。これから畜産農家はどうなってしまうのか。福島の牛は安全だとアピールしても、消費者はなかなか戻ってこない。　（匿名）

次号では、「卒業」をテーマに、あなたのひとことを募集します。**2月25日(月)**が締め切りです。



## 芸術文化鑑賞奨励事業 申請は3月29日までに

村教育委員会では、芸術・文化公演などの鑑賞を奨励する「芸術文化鑑賞奨励事業」を実施しています。
平成13年度分の申請受付は3月29日(金)までとしますので、助成希望者は忘れずに申請してください。

**助成対象者**　村内に住所があり、居住する小学生以上の人

**助成額**　助成対象となる入場(観覧)料の額は3,000円以上（高校生以下は2,000円以上）で、奨励金は入場料の半額。入場料が10,000円を超える場合、奨励金は5,000円。助成は年間1人2回まで。

**■問い合わせ**　村教育委員会教育課生涯学習係☎49-2247

随想 村民リレー 44人目

# 高坂 まき さん

*Maki Takasaka*

大字赤坂西野字西在住



■まきさんってこんな人！

**たかさか・まき**／昭和27年2月生まれ。趣味は読書（推理小説）…ですが、最近はなかなか時間がとれないとのこと。「これからはダイエットにも挑戦したいですね」と笑う。

## やっぱり鮫川がいい

鹿角平で働くようになって、はや5年。多くの人たちとの出会い、触れ合いがあり、今まで味わえなかったことを、たくさん感じています。雪どけとともに「元気でしたか？また来たよー！」。こんな声が聞けるときは、本当にうれしいひとときです。

あるお客さんが言いました。「都会の友人に教えてあげたいような、教えてあげたくないような…」。何か私も分かるような気がします。もっと大勢の人たちに鮫川の良さを知ってほしいような、あまり俗化されたくないような複雑な思いです。

世の中、めまぐるしく情勢が変動していて、なかなかついていくのが大変な今日。忙しさに追われ、こんなにも恵まれた自然の中で生活していても、私自身、良さも素晴らしさも見失っているような気がします。

ストレスに押しつぶされ、病んでいる子とともに、この自然いっぱいの中で、ときには立ち止まって、大きく深呼吸したら、何かが見えてくるかななんて考えながら、明日もまた頑張ろうと思います。

そして、やっぱり自然がいっぱいの鮫川が好きだし、いつまでもそうであってほしいです。

**〔次は、鈴木芳保さん（赤坂東野）にバトンタッチ！〕**

### 俳句

広げるね落葉の道は背戸が廊　中井　恒峯
降る雪に鴨の羽音のたそがれる　金沢　暁舟
何処までも行きたく思う雪の道　山本　朗史
枯葉舞う上野の森のホームレス　矢部　正子
種籾ののぎ取る縁の小春かな　小山田清哲
初鏡自問自答の旅に出る　斎須　信子
林覆う雪花のよろしき眺め　北條素人坂
正月もかけ足で去りはや十日　黒田　寿香
初売りや魚の大樽引き並べ　山本五十鈴

### 短歌

ペイオフは納得いかぬこの仕組　金融破綻と云うは何故なる　松本　一郎
賑やかに登校せしわが里に子等の見えざるこの少子化は　鈴木　クニ
暫くに訪ねし友は囲炉裏から焼き芋取りてわれに差出す　岡部　シゲ
はしゃぐ孫妻も一緒にかけ巡る腰痛などは忘れたように　北條　平
寒い寒いと友来るに夫は元気にゲートボールへ　水野　フク
増えたのはゴミとカラスと去った人減ったは人の情なるかも　前田　栄美
どう見ても清き水とは云われな

ずーむあっぷ 人 HUMAN

青少年読書感想文全国コンクールで
奨励賞に輝いた

# 根本麻美さん

## 小学校生活のいい思い出に

「小学校生活の締めくくりに、とてもいい思い出ができました」と笑顔で語るのは、富田小学校六年の根本麻美さん（富田字中沢在住・十二歳）。

このほど、全国学校図書館協議会などが主催する「第四十七回青少年読書感想文全国コンクール」に推薦されていた麻美さんの作品が見事、奨励賞に輝いた。郡・県コンクールでの特選受賞に続く快挙で、学校内は大きな喜びに包まれている。

受賞したのは、父子家庭の生活を描いた「峠をこえたふたりの夏」（三輪裕子著）の感想文。物語の主人公と自分の家庭を比べながら、原稿用紙六枚に自分の考えを表現した。

「麻美さんの素直な感性が高く評価されたのでは…」。下重秀俊校長はそう分析する。

感想文は、二学期の授業で書いた。「納得できるまで何度も書き直し、出来上がるまで三週間もかかりました」と、がんばり屋の一面をのぞかせる。

俳句や詩を作るのも好きだという麻美さん。「中学生になったら、一日に一作品ずつ作っていきたいです」。澄んだまなざしが一層かがやきを増した。



受賞を喜ぶ麻美さん

# 図書の缶詰

鮫川村図書館 ☎29-1150

## 今月のおすすめ




**■おつむてんてん　はらぽんぽん**（よしだていいち編、かみくぼよしふみ絵、らくだ出版）…“かおあそび”の絵本です。お子さんと一緒に遊びながら読んであげてください。




**■金持ち父さん　貧乏父さん**（ロバート・キヨサキ著、筑摩書房）…金持ちになるためにはたくさん稼ぐ必要があるという「神話」をくつがえす本です。そして、「お金」について子どもたちに何を教えたらいいかを教えてくれます。

図書館は、午前9時から午後6時まで開いています。

## 3月の休館日

SAMEGAWA LIBRALY

確認してからでかけてね。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| • | • | • | • | • | 1 | 2 |
| 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | ⑱ | 19 | 20 | ㉑ | 22 | 23 |
| 24/31 | ㉕ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

○印が休館日です。

---

い泳げる川につい戻るやも　前田喜三子
八十路なる歳はさて置き残生を燃えよと初日燦々と降る　叭
雪達磨ポリのバケツに造りあげ頬りにはしゃぐ都会の孫ら　坂本　雪絵
泪のよう露振り零す南天に積もりし雪を払えやる午後　増子　紗久
心の花咲かせるという歌の友手にして来たり山茶花一枝　大平　太平
二十年も共に過ごせし家猫が逝きて心もうつろなる日日　蛭田　光江
老というわが人生に身嗜み心がければ目立たぬ花も　関根　米子
カタクリの群生するとうかの山に夢を描けば早春の風　前田　初
注連の藁匂いおり新たなる年を迎えて供う神棚は　水野　国勝
つれづれに執るペン先に羽を鳴らし虫が寄り来る啓蟄の日は　関根　儀光
五人の孫皆成人し集い来て新年は賑わう団欒の窓　関根　瑞恵
顧る夕餉時なり悔いなくも過ごししわれの一日なりしか　緑川　理羽
定まらぬ天気の二〇〇二年なり不況もテロも未だ重なりて　松本　由起
鵯が辛夷の雪を蹴散らして銀毛眩しブルーの空に　鈴木イミ子

いきいき生活、応援します。

く・ら・し・の

# 情報

*Information*

**電話番号**

市外局番（０２４７）

| | |
|---|---|
| 役場 | ☎ 49 - 3111㈹ |
| | FAX 49 - 2651 |
| 教育委員会 教育課 | ☎ 49 - 3151 |
| | ☎ 49 - 2247 |
| 図書館 | ☎ 29 - 1150 |
| 公民館 | ☎ 49 - 2247 |
| 農業者トレーニングセンター | ☎ 49 - 3295 |
| 鮫川幼稚園 | ☎ 49 - 2358 |
| 学校給食センター | ☎ 49 - 2113 |
| 鮫川保育所 | ☎ 49 - 2056 |
| 渡瀬保育所 | ☎ 48 - 2050 |
| 国民健康保険診療所 | ☎ 49 - 2028 |
| 交流施設 ほっとはうす・さめがわ | ☎ 48 - 2555 |
| 高齢者総合福祉センター ひだまり荘 | ☎ 49 - 3600 |
| 村民保養施設 さぎり荘 | ☎ 49 - 2205 |

募集

## 村営住宅「見渡団地」入居者

現在、赤坂西野地内に建設中の村営住宅「見渡団地」の入居者を募集します。

**住宅の所在地**　大字赤坂西野字茅３５３

**住宅の構造**　木造瓦葺２階建て

**募集戸数**　４戸

**入居資格**　▼すでに同居し、または同居しようとする親族があること▼現に住宅に困窮していること▼収入（所得）が基準内であること

**入居者の費用負担**　▼家賃…月額２３、９００円～３９、６００▼敷金…入居時の家賃の２カ月分▼その他…電気・ガス・水道の使用料、合併処理浄化槽の維持管理委託料・清掃手数料、テレビ共同受信施設組合の年会費などは入居者の負担となります。

**入居時期**　平成14年４月１日

**募集期間**　２月12日（火）～28日（木）

**その他**　犬・猫などの動物の飼育は認めません。

**■申し込み・問い合わせ**　村建設課管理係☎内線２５２

農業

## 農地の形質変更には届け出が必要です

農地に盛土（切土）する場合で、高さ30センチを超え、造成後も農地として利用する場合には、盛土高（切土高）を示す図面などを添付した「形質変更届」を提出しなければなりません。

この届け出をしないで造成を始めると、農地の無断転用とみなされ、工事などの中止または原状回復命令の罰則規定がありますので、必ず届け出をしてください。

なお、届け出後３年は、農地転用はできません。

**■問い合わせ**　村農業委員会事務局☎内線245

年金

## 4月から保険料の納付方法が変わります

今まで役場から送られていた第１号被保険者（農林漁業や自営業などとその配偶者および学生）の「国民年金保険料納付案内書」は、平成14年度以降は国（社会保険庁）から直接送付されます。このため、役場出納室で国民年金保険料を納めることができなくなります。

また、保険料の納付窓口が拡大され、銀行・信用金庫・郵便局（簡易も含む）・農協・信用組合・労働金庫および社会保険事務所で直接納めることになります。

## 保険料の納付は便利で確実な口座振替を

口座振替納付を利用した場合、保険料は指定の口座から毎月自動的に引き落とされますので、納め忘れがなく確実です。

新たに口座振替納付を利用される方は、預金通帳と通帳届け出印を持参して「口座振替申出書」を役場に提出してください。

なお、現在口座振替納付を利用されている方については、４月以降も引き続き口座振替納付を利用されるかの確認文書が、２月下旬ごろに社会保険庁から送付されます。

**■問い合わせ**　村住民課国保年金係☎内線２３４

県内企業に就職希望の学生の皆さんへ

## ふくしまジョブフェア2002

■とき　2月27日(水)　午後1時～5時
■ところ　ビッグパレットふくしま(郡山市)
■対象　大学、短大、高専、専門学校に在学中の学生のうち、平成15年3月以降に卒業予定で、将来、県内企業に就職を考えている方
■内容　ガイダンス、講演会、相談、情報提供のための登録

問い合わせ
福島労働局職業安定部職業安定課
☎024-528-0254

## アルコール関連問題研修会

お酒と健康について考える

アルコールに関する問題への正しい知識と対応方法について学ぶため、アルコール関連問題研修会を開催します。
■主催　福島県精神保健福祉協会県南支部、福島県県南保健所
■日時　3月8日(金)午後1時30分～3時30分
■場所　ホテルサンルート白河
■内容　お酒と健康～アルコール依存症を考える～（アルコール依存症から回復した人の体験談）
■参加費　無料

申し込み・問い合わせ
県南保健所　健康企画課
☎0248-22-5441

## 媒酌人奨励金制度

村では、後継者の結婚を仲介した媒酌人に対し、奨励金を支給しています。
■支給対象　婚姻後も引き続き村内に住む後継者の配偶者を媒酌した場合
■支給額　①村内から配偶者を媒酌したとき…2万円／②村外から配偶者を媒酌したとき…3万円
■手続き　奨励金の支給を受ける場合、交付申請書を提出してください。

◎問い合わせ
村農業委員会事務局
☎内線245

24時間開設　年中無休

## ☎電話健康相談

■電話番号　0120-09-1299(フリーダイヤル)
育児の悩み、病気の心配、介護の知識、福祉の情報など、あらゆることに専門スタッフが相談に応じます。相談・通話は無料で、プライバシーは厳守されます。ご家族の健康づくりにご利用ください。

■相談のしかた
①電話をかける→②電話の相手に「福島県鮫川村」と伝える。名前は匿名でもかまいません→③相談・応答

問い合わせ
村住民課国保年金係
☎内線233

調査

高齢者保健福祉・介護保険

## アンケートにご協力を

村では、65歳以上のすべての村民を対象に「高齢者保健福祉および介護保険に関するアンケート」を実施します。
このアンケートは、平成15年度以降に村が実施する保健福祉事業や介護保険事業に反映させるために行う大切な調査です。
皆さんのご協力をお願いします。
実施期間　2月18日(月)～3月18日(月)
対象者　2月1日現在で65歳以上の方
実施方法　各地区の民生委員が訪問し、アンケート用紙を配布・回収します。
■問い合わせ　村住民課国保年金係☎内線233

税務

## 固定資産課税台帳の縦覧

平成14年度固定資産税の課税の基礎となる「固定資産課税台帳」をお見せします。縦覧を希望する方は、印鑑を忘れずに持参してください。
縦覧できる人は、納税者である固定資産の所有者本人か、本人の委任を受けた方および納税管理者です。
また、昨年中に取り壊した家屋または新増築した家屋がある場合は、税務係にご連絡ください。
期間・時間　3月1日（金）から20日（水）までの期間中の午前8時30分から午後5時まで（土・日曜日は除く）
場所　役場内総務課税務係
■問い合わせ　村総務課税務係☎内線218

## 土地や建物を売ったとき

土地や建物を売ったときの利益には、譲渡所得として税金がかかります。ただし、マイホーム（敷地を含む）を売ったときや買い換え（交換）をしたときなどは、一定の要件を満たせば、軽減税率などの特例が受けられます。
譲渡所得については、種々の特例が設けられていますが、特例の適用を受けるには、さまざまな要件がありますので注意が必要です。
また、所得税は1年間のすべての所得を合計して税金を計算することになっていますが、土地や建物を売ったときの譲渡所得の税金は、他の所得と区分して計算します。
■問い合わせ　白河税務署☎0248-22-7111

手続き

## 住民異動シーズン 届け出を忘れずに

3月から4月にかけては、転勤や就職、進・入学などにより住民異動が多くなります。この時期、初めて住所を変更する人も多いことでしょう。

正しい住所を届け出ていないと、選挙ができなかったり、国民年金や国民健康保険、児童手当などの給付が受けられなくなる場合があります。さらに、子どもの入学などにまで、さまざまな影響が出てきます。

左の表に該当する人は、届け出の種類に応じて必要なものを持参の上、期限内に住民課窓口で異動の手続きを行ってください。

届け出をする際には現住所、本籍などの記入や捺印が必要になります。

また、国民健康保険や国民年金に加入している人は、保険証と年金手帳も忘れずに持参してください。

**■問い合わせ** 村住民課戸籍係 ☎内線232

**■住所変更などの主な届け出**

| こんなとき | 届け出の種類 | 届け出に必要なもの | 届け出期限 |
|---|---|---|---|
| 村外から移ってきたとき | 転入届 | □届け出人の印鑑<br>□転出証明書（前住所地で発行）<br>□国民年金手帳（加入者のみ）<br>□小・中学校の児童がいる人は在学証明書 | 本村に来てから14日以内 |
| 村外へ移るとき | 転出届 | □届け出人の印鑑<br>□国民健康保険証（加入者のみ）<br>□印鑑登録証（登録者のみ） | 村外に移る前に |
| 村内で住所を変更したとき | 転居届 | □届け出人の印鑑<br>□国民年金手帳、国民健康保険証（加入者のみ） | 引っ越した日から14日以内 |
| 世帯主が変わったとき | 世帯主変更届 | □届け出人の印鑑<br>□国民健康保険証（加入者のみ） | 変更した日から14日以内 |

## チャイルドシートの購入費を助成します

平成12年4月から、6歳未満の子どもを自動車に乗車させる場合、着用が義務付けられたチャイルドシート。村では「チャイルドシート購入費助成事業」を実施し、購入費の一部を助成しています。

**■助成対象** 原則として村内に住所がある6歳未満の乳幼児の親族とし、助成は乳幼児1人につき1回のみとします。

**■助成額** 購入価格の2分の1（ただし、100円未満は切り捨てとし、助成限度額は1万円とします）

**問い合わせ**
村総務課総務係 ☎内線211

お知らせ

## 4月から保健所と社会福祉事務所が統合

4月から、保健所と社会福祉事務所が統合され、新たに「保健福祉事務所」が設置されます。設置場所は、現在の保健所庁舎となりますが、次の業務については当面、白河合同庁舎3階に設置する県南保健福祉事務所健康福祉部で行います。なお、現在の県南保健所棚倉支所は、保健福祉事務所の支所として、これまでどおりの業務を行います。

**合同庁舎で行う業務** ▼妊婦追加健康診査受診票交付申請▼母子医療給付申請（療育医療、育成医療、小児慢性特定疾患治療研究事業）▼特定疾患医療受給者証交付申請▼原子爆弾被爆者対策事業

**■問い合わせ** 県庁医務福祉課☎024-521-7219、県南保健所☎0248-22-5441

## 預金の保護の範囲が変わります

万一、金融機関が破たんした場合、今年3月までは預金の全額が保護されますが、4月以降は次のように制度が変わります。

▼預金者1人当たり、定期預金などの元本1千万円までとその利息は保護されます。▼合算して元本1千万円までとその利息は、あくまで最低保障ですので、受け取れるのは1千万円だけではありません。▼当座預金・普通預金などは、平成15年3月まで全額保護されています。

詳しくは、金融機関にお問い合わせください。（金融庁）

### 相談

**■心配ごと相談**
▼**日時**…2月20日(水)午前10時～午後3時（午後1時からは弁護士が相談を受けます）▼**場所**…村公民館◎**詳細**…村社会福祉協議会☎49-3600

**行政・警察安全合同相談**
▼**日時**…2月20日(水)午前10時～午後3時（警察安全は正午まで）▼**場所**…村公民館▼**内容**…行政＝役所や公団・公庫、NTT、JRなどの仕事に関する苦情や要望を受け付けます／警察安全＝犯罪などによる被害の未然防止などに関する相談に応じます◎**詳細**…行政＝村総務課総務係☎内線214／警察安全＝棚倉警察署☎33-3241

### 納付

▼国民年金保険料＝2月分 ◎**納期限**…2月28日（木）
※納期内に納めましょう。口座振替の方は、残高確認をお願いします。

### 寄付

▼**社会福祉事業のために**（金員）…溝井繁（大竹）矢吹秋男（官沢）鈴木章弘（蕨ノ草）村婦人会（岡部みち子会長）村老人クラブ連合会（坂本恵司会長）棚倉地区安全運転管理者協会・安全運転管理棚倉事業主連絡会・棚倉地区交通安全協会
※12月11日～1月15日受理分・敬称略

## 休日当番医

| | |
|---|---|
| **2月17日(日)** | |
| 杉山胃腸科外科皮膚科(棚倉町) | ☎33-7551 |
| 東舘診療所(矢祭町) | ☎46-3165 |
| 中島病院(石川町) | ☎26-3415 |
| **2月24日(日)** | |
| 和田医院(棚倉町) | ☎33-2012 |
| 石川医院(塙町) | ☎43-0003 |
| 石川中央医院(石川町) | ☎26-2024 |
| **3月3日(日)** | |
| 勝田医院(棚倉町) | ☎33-3008 |
| 中島医院(塙町) | ☎43-0373 |
| 中島病院(石川町) | ☎26-3415 |
| **3月10日(日)** | |
| 大木医院(棚倉町) | ☎33-2424 |
| 木村医院(矢祭町) | ☎46-3528 |
| おりの整形外科クリニック(石川町) | ☎26-5050 |
| **3月17日(日)** | |
| 東白川中央病院(棚倉町) | ☎33-3263 |
| 車田病院(塙町) | ☎43-1019 |
| 中島病院(石川町) | ☎26-3415 |
| **3月21日(木)** | |
| 藤田医院(棚倉町) | ☎33-2013 |
| 塙厚生病院(塙町) | ☎43-1145 |
| 大野病院(石川町) | ☎26-1181 |
| **3月24日(日)** | |
| あらまちクリニック(棚倉町) | ☎33-8018 |
| 金沢医院(矢祭町) | ☎46-2312 |
| 中島病院(石川町) | ☎26-3415 |

## ごみ収集日

―3月―

■江竜田～中野町～福原～鍬木田～広畑～新宿～道少田～大塩
- 可燃物…4.7.11.14.18.25.28
- 不燃物…1.15.29

■さぎり荘～村営住宅赤坂中野団地
- 可燃物…4.7.11.14.18.25.28
- 不燃物…13.27

■鮫川中学校
- 可燃物…4.7.11.14.18.25.28
- 不燃物…14.28

■関下～越虫～青生野小～世々麦～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢～関口
- 可燃物…6.13.20.27
- 不燃物…13.27

■真坂～押目～酒垂～塚本～荻ノ沢～折戸～水口～官沢
- 可燃物…6.13.20.27
- 不燃物…14.28

■官代～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜
- 可燃物…6.13.20.27
- 不燃物…1.15.29

■東前田～大久保～鬼越～赤柴～沼野沢～岩野草～薄ケ久保～石井草
- 可燃物…6.13.20.27
- 不燃物…22

※ペットボトル用指定袋は、不燃物と同じ日に収集します。

保健婦の健康アドバイス ADVICE



保健婦の蛭田みゆきです

# 「幸福」って何？

皆さんにとっての幸福とは何でしょう。カール・ユングというスイスの心理学者が提唱した「人生の幸福の5つの条件」を参考までにご紹介します。

**①人と仲良くしていく能力があること**…人は一人では生きていけません。身近な家族や友人、知人、隣人などとお互いに支え合って生きています。支え合える仲間が多いほど、また、支え合う力が強いほど、楽しい人生を過ごせるのではないかと思います。これは特別な能力ではなく誰もが持っているものです。我を張らず、相手を思いやる気持ちを持ち続けていれば、自然と仲間が増えていくのだと思います。

**②美しいことを感じる能力があること**…年を重ねていくほど、素直に感動したり喜んだりすることが少なくなっていませんか。きれいなものを見て素直に「きれいだなあ」と感じると、精神的に豊かになるだけでなく、脳が動きいつまでも若々しい脳を保つことができます。

**③ほどよい程度のお金があること**…どのくらいが「ほどよい」のかは個人によって違うと思いますが、余りある財産や富は人を堕落させ悪い方向に変えてしまうのかもしれません。ここでは、さらに上を目指して頑張る気持ちを持つことの大切さも含まれているのではないでしょうか。

**④朝起きたとき、やらねばならぬ仕事があること**…私たちは毎日の生活に追われて、つい「辛い」「大変」と思いがちですが、やることがあるということは生活の張りにもつながっていきます。この仕事というのは会社などのお勤めだけではなく、畑仕事や家事、勉強、趣味なども含まれ、年齢に関係ないものだと思います。「やらねばならぬ」ではなく、「楽しくやれる」となお良いと思います。

**⑤健康であること**…言うまでもありませんが、健康であることが全ての資本になります。健康だからこそ、前述した幸福の条件が生きてきます。今年も健康に留意され、幸福な一年を過ごしましょう。

今月の表紙PHOTO



1月13日、成人式の会場となった村公民館は、新成人たちの熱気にあふれていました（詳しくは8ページをご覧ください）。

## お誕生

12月11日～1月15日届け出分



前田（まえだ）　流音（るね）（女）
平13.12.10生
住所／宮代
保護者／正樹



藤田（ふじた）　大成（たいせい）（男）
平13.12.20生
住所／葉貫
保護者／幸樹



井坂（いさか）　緋来（ひな）（女）
平13.12.25生
住所／酒垂
保護者／広徳



鈴木（すずき）　舜花（しゅんか）（女）
平14. 1. 4生
住所／馬場
保護者／庄悟

## おくやみ

12月11日～1月15日届け出分

| 住所 | 氏名 | 月日 | 年齢 |
|---|---|---|---|
| 大竹 | 溝井　末吉 | 12.12 | 74歳 |
| 鍬木田 | 坂本美智夫 | 12.13 | 42歳 |
| 官沢 | 矢吹　一男 | 12.19 | 78歳 |
| 蕨ノ草 | 鈴木　和則 | 12.19 | 51歳 |
| 江竜田 | 鈴木　ミチ | 1.11 | 84歳 |
| 戸草 | 本郷　篁 | 1.13 | 80歳 |
| 前田 | 高坂　卯平 | 1.15 | 74歳 |

## 人の動き

1月1日現在・（ ）は前月比

| | | |
|---|---|---|
| 人口 | 4,731人 | （－9） |
| 男 | 2,355人 | （－6） |
| 女 | 2,376人 | （－3） |
| 世帯 | 1,108人 | （－2） |

※お誕生・おくやみ欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。


広報さめがわ
平成14年2月（通巻575号）

■発行／福島県鮫川村
■編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
☎0247-49-3111／FAX 0247-49-2651
■印刷／佐藤印刷所（塙町）


セピア色の思い出 ㉙



昭和27年4月

# 鮫川小学校入学式記念

提供／水野博和さん（赤坂東野字広畑・68歳）

昭和27年4月1日に挙行された、鮫川小学校入学式の記念写真です。入学したのは弟ですが、親の仕事の都合により、兄の私が保護者として代わりに出席しました。ちょうどこの年に私は就職。弟は小学1年生、私は社会人1年生として、共に記念すべき第一歩を踏み出しました。（水野）

## 後編集記

▼市町村合併――難しい問題です。地域の将来を左右する重大な問題ですから、私たち一人ひとりが真剣に考えなければなりません。ある町の人が言ったそうです。「町民でなく、市民になりたい」と…。ただそれだけの理由で、この問題を考えてほしくありません。▼合併するか、しないかは、それぞれの市町村自らが決断を下します。今後、広報としても村民の皆さんの声を取り入れながら、市町村合併について考えていきたいと思います。皆さんなりの考えを「広報さめがわ」までお寄せください。（舟木）